

令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立清水中学校	作成者	職名	教頭										
電話番号	0956-24-8484		氏名	後藤 益拓										
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)														
4月	実施テーマ	服務規律の徹底 体罰・不適切な指導の根絶												
長崎県服務規律ハンドブックを参照し、教育公務員として、遵守しなければならないことと、法的根拠の確認および徹底を図り、違反した場合の処分について、「校内研修」の中に位置づけを行った。また、わいせつ行為防止自己チェックシートの実施をし、教職員一人一人が自らの問題として真摯に受け止められるよう、具体的な事例を用いて指導を行った。														
7月	実施テーマ	飲酒運転の根絶 体罰・不適切な指導の根絶 情報セキュリティの徹底												
取組の評価・改善点														
市内で不祥事が発生した件を受け、わいせつ行為防止にも触れた。また、上記のテーマでも職員一人一人は、自覚しているが、定期的に研修を行うことでさらに自覚を促すことができた。														
12月	実施テーマ	体罰・不適切な指導の根絶 公金についての不正処理防止												
取組の評価・改善点														
今年度の自身の指導を振り返り、常時適切な指導がなされていたかを確認し、残りの3か月の指導を改善していく研修を行った。また、公金の処理についても確認する機会ができ、職員の意識向上につなげることができた。														
2 服務規律委員会														
委員会名	不祥事対策・服務規律委員会													
構成員	所属内委員 (6名 構成員 校長・教頭・教務主任・学年主任)、外部委員 (3名 役職等：スクールカウンセラー・心の教育相談員・育友会会長)													
3 年間を通しての計画の達成状況														
年間を通しての取組状況チェックリスト														
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号 (ア～コ) で回答ください。(複数回答可)														
<table border="1"> <tr> <td>イ</td> <td>キ</td> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					イ	キ	ク							
イ	キ	ク												
その他 (ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)														
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください (以下同じ)。														
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>					(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。														
<table border="1"> <tr> <td>() できた</td> <td>(○) 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>					() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。														
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 不十分だった</td> <td>() 実施してない</td> </tr> </table>					(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない						
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない											
資料添付			有	無										

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職員の指導中心の研修から、サービス規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。 	